

「どんぐりと山猫」 原作：宮沢賢治

○あらすじ

一郎は、土曜日の夕方、めんどろな裁判をするので来ませんか、というおかしな内容の葉書を受け取ります。

差し出し人は「山ねこ」で、飛び道具を持たないで下さいという但し書きも。

次の日、一郎は、ピーピーと笛を吹く滝や、楽隊きのこや、くるみの木の上を飛び回るリスに導かれて、かやの木に
囲まれた黄金色の草地にやってきました。

そこで、山ねこの馬車別当という男が一郎を待っていました。

山ねこが現れ、一郎に、実はめんどろな裁判が起きているので考えを聞きたいと切り出します。

草の中から、どんぐりたちが飛び出し、頭がとんがっている私が一番えらい！ 一番丸い私がえらい！ 一番大きな
わたしがえらい！ などと訴え始めます。

どのどんぐりが一番えらいのかを決める裁判で、3日も続いているのですが、収集がつかない状態のようです。

そこで、山ねこが一郎に、「このとおりです。どうしたらいいでしょう。」とそつと言うと、一郎は、笑って、「いちばんばかで、
めちゃくちゃで、まるでなっていないようなのが、いちばんえらい」と言い渡したらどうでしょうと告げました。なるほどと思っ
た山ねこが、そう言い渡すと、どんぐりたちは、自分がそつだと名乗り出るものはなく、しーんとして固まってしまいました。
裁判を一言で片付けてしまった一郎は、名誉判事になり、これからも葉書が来たら裁判に来てくださいと依頼され
ます。一郎は、黄金のどんぐりが入った枴をもらいましたが、家に着いたときには、普通の茶色いどんぐりになっていま
した。その後、山ねこから、葉書が来ることはありませんでした。

○公演場所：学校の体育館・音楽室などの平坦なスペース

○公演時間：約 60 分

○料金：20 万円（観客規模・予算に応じてご相談ください。）

※詳細内容等については、ご希望に沿ってご相談させていただきます。

○キャスト

小松野希海

熊本大学卒業後、「劇団四季」に入団。ライオンキング、赤毛のアンなどに出演。長年の夢であった熊本でのミュージカル制作のため「in.K. Musical Studio」を立ち上げ、代表として活動中。K K T 熊本県民テレビ「テレビタミン」の金曜日「お絵かきドンドン！！」レギュラー出演。

他、転回社に所属する俳優が出演します。

○演奏

岩切舞子

Komatsuno Unit ミュージカル公演ではメインピアニストを務め、作曲・編曲も担当。現在、NHK熊本児童合唱団、コールからたち、コール・カタルパピアニスト。熊本県立松橋西支援学校非常勤講師。九州音楽専門学院講師。

○スタッフ

演出：亀井純太郎

熊本大学在学中に、「劇団第七インターチェンジ」を結成。近年は小学校・中学校での演劇ワークショップを講師として、熊本県を中心に年間百数十回を実施。

脚本：石田みや

熊本県立大学在学中に書いた戯曲「メランコリーの予感」が県芸術文化祭オープニングステージ作品選考会で最優秀となり、県立劇場で上演された。2011 年、演劇ユニット「馬車馬の会」結成。2013 年からテント劇団「どくんど」の全国ツアーメンバー。

お問い合わせ



転回社

〒862-0950 熊本市中央区水前寺 1-32-28-202

TEL：080-1770-8318

FAX：096-323-7267

E-mail：office@tenkai.org

担当：坂口 佳乃子